

# 迎春



登米市長  
布施孝尚

## 市民の皆さまとつくり育てる『協働のまちづくり』を目指して

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、平成21年の輝かしい新春を迎えることと心からお喜び申し上げます。日ごろから、市政に対して温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。早いもので、今年は登米市が誕生して5年目を迎えます。

昨年は、北京オリンピックでの日本選手の活躍や、4人の日本人がノーベル賞を受賞するなど明るい話題もありましたが、世界的な金融危機から景気後退が急速に進み、国民生活に大きな影響を与えた年でもありました。

本市でも、水道事故の発生や公用車の無車検運行等、市民の皆さまにご迷惑をお掛けした年でしたが、「消防防災センター」や「登米市斎場」が完成し供用を開始いたしました。そのほかの取り組みとしては、「登米森林公園」「上羽沢環境保全林」が、県内で初めて森林セラピー基地の認証を受けるとともに、登米市の魅力や特性を生かした景観をつくるため、県内では仙台市に次ぐ景観行政団体に移行しました。

そして、起業を支援するための「ビジネスチャンス支援事業」の創設や、地域共通商品券「とめっこマネー」への支援など、地域経済の活性化を進めてまいりました。

さて、喫緊の行政課題であります地域医療につきましても、研修医制度の改正に伴う医師不足によって大学側も医師の確保が必要と

なり、医師の引き上げを行うようになりました。その結果、今まで派遣・応援に頼っていた市立病院では医師が減少し、現場の医師は過酷な労働環境となっております。

さらに、診療報酬、薬価の減額改定により医療収入が減収するなど、病院事業を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。このままでは市立病院の存続自体が危ぶまれることから、今後「病院改革プラン」に基づき、病院の再編と改革に取り組んでまいります。

また、地域医療は、市民の皆さまの協力と理解が無ければ、成果を上げることが難しい問題です。自治体病院の役割を十分に踏まえ「保健・医療・福祉を連携させた地域医療」を市民の皆さまとともにつくりあげていきたいと思っております。

本年は「三陸縦貫自動車道登米インターチェンジ」が開通します。企業誘致を積極的に進めるとともに、市の農産物や産業、豊かな自然、ロマンあふれる歴史・文化などを全国各地へ向けて発信してまいります。

これからも「市民の皆さまとの協働による登米市の持続的な発展」を目指し、全職員とともに全力を傾注し施策を推進してまいりますので、昨年に引き続き皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、希望に満ちた幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

## 市民の英知を集結し『光り輝くふるさと登米市』の実現に挑戦！

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

登米市議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年の日本経済はエネルギー原材料価格の高騰やアメリカサブプライムローン問題に端を発した世界的に類をみない金融ショックが要因となり、大幅な景気後退の局面を迎え、金融情勢の安定化とインフレの防止が緊急かつ最大の政治課題となりました。

さらに、マグニチュード7・2、直下型の岩手・宮城内陸地震の発生、食の安全を脅かす中国産冷凍食品中毒事件や三笠フーズによる事故米不正転売事件など、各般にわたる激動の年でもありました。

また、本市の基幹作目の水稲は、登熟期の低温・日照不足などの影響で作況指数98のやや不良、充実不足などによる1等米比率の低下に加え、畜産農家や園芸農家も燃油・肥料・飼料の価格高騰の影響を受け、本市の基幹産業である農業は大きな打撃を被りました。

そんな中で、本市長年の懸案でありました広域4事業にあつては、総合防災拠点施設である消防防災センターの完成、新火葬場の稼働開始、養護老人ホームきたかみ園、汚泥再生共同処理センターの新築工事も順調に推移しており、本年中にはすべてが完成し、供用

を開始する運びであります。

今、登米市が抱える喫緊の行政課題は、市民の安全・安心の源である「医師確保による市立病院の再編」、「地域医療・保健・介護体制の連携整備」であります。

また、顕在化する地域経済の格差拡大に歯止めをかけ、市民生活の安定と登米市の持続的発展を図るための農・商・工業の連携振興が急務であり、積極果敢な地域経済戦略の推進と雇用機会の拡大は、今日最も重要な政策課題であります。

さらには、災害から市民の生命と財産を守る地域防災体制の強化、子育てや介護支援体制の積極的な推進、教育環境の整備、食の安全・安心対策など登米市合併後5年に取り組みべき課題は山積しております。

合併5年目の節目を迎えた本年は、市長・市議会議員共に改選の年に当たります。残された任期を市議会一丸となつてその責務を懸命に果たしていく所存であります。登米市政は、いつときの政治空白も許されません。9万市民の洗礼のもとに、市民と市当局・議会が協働のまちづくりの精神にのっとり、それぞれの役割を果たしていくことが「光り輝くふるさと登米市」の実現に大きく前進するものと確信するものであります。

市民の皆さまのなご一層のご指導・ご鞭撻を切にお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



登米市議会議員  
庄子喜一